

「明るく元気ないわき市」を目指して

「共に創る「共創」のまちづくり」

いわき市長 清水敏男



新年おめでとうございます。皆様には、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、本市が誕生して五十年という大きな節目を迎えました。ふるさととの発展にご尽力いただいた先人の思いを引き継ぎ、東日本大震災を経験して今を生きる私たちは、復興を必ずや成し遂げ、自信と誇りを持って、未来を担う後進に「ふるさといわき」を継承していかなければなりません。

東日本大震災から、間もなく六年を迎えようとしております。ふるさといわきの復興は、全ての災害公営住宅で入居が可能となったほか、防災集団移転促進事業では宅地の引き渡しがおおむね完了し、現在、移転元地を活用した企業誘致に取り組んでいるところ。震災復興土地区画整理事業でも昨年三月、県内初の被災市街地の宅地引き渡しを開始し、来年三月には全ての宅地の引き渡しが完了する見込みであるなど、ハード面での基盤は、着実に進捗しているところ。本年も引き続き、ふるさといわきの力強い「復興」の実現に向け、市民の皆様との早期生活再建に最優先で取り組むとともに、大きな課題であった道路等側溝堆積物の撤去を、除染が完了した久之浜・大久地区を除く市内全域で実施し、また、防犯灯をLED型に切り替える町内会等へ補助するなど、震災前の安全で快適な生活環境を取り戻してまいります。

また、さらなる五十年に向けた魅力あふれるいわきの「創生」に向け、地域を支え、国内外で活躍する「人財」を育成する「ひとづくり」、市民の皆様からも市外の方々からも「選ばれたまち」をつくる「まちづくり」、地域の産業を振興し、雇用の創出につながる「しごとづくり」を進めてまいります。

さらに、二〇一八年に本市を会場に世界水族館会議が開催されるとともに、国では、二〇一九年のラグビーワールドカップ、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックなどが開催されますので、国際的な会議や大会の開催の機会を捉えて、文化・芸術・スポーツなどによる交流事業を積極的に展開しながら、国内外に向けて、明るく元気ないわきを発信してまいります。

五十年前に合併した際、市の名前「いわき」に込めた「和を以て貴しとなす」の心を未来につなぎ、復興の先を見据えたさらなる五十年に向け、市民の皆様をはじめ、あらゆる方々と連携しながら、魅力あふれる「ふるさといわき」を共に創るため、今年一年、全身全霊を懸けて取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

# 市議会12月定例会を開催

いわき市議会12月定例会が、12月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。議会では「いわき市ふるさと納税基金条例」の制定のほか、一般・特別・企業会計の補正予算などが審議され、57の議案が可決・同意されました。



## 市長からの行政報告

市長は、十一月二十二日に発生した、最大震度五弱の地震と津波警報への対応などについて説明し、大きな被害もなく、各地区で実施した防災訓練の成果であると受け止める一方、車での避難の際に発生した渋滞等の課題への対応など、引き続き、防災体制の強化を図ることを報告しました。

また、市道の側溝堆積物の撤去・処分について、原発事故に伴う放射性物質の影響により控えてきました。本市をはじめ県内市町村が粘り強く訴えたことに加え、本市が県内他市に先

駆けてモデル事業の実施を決定した結果、撤去・処分の費用に財政措置を講じるなどの国の対応方針の決定に結びついたと述べました。

さらに、十一月一日に挙行した市制施行五十周年記念式典と、同記念事業いわきサンシャイン博のメインイベントとして実施した「いわき五十祭」が盛会のうち

に終了し、市制施行五十周年の大きな節目を、市民の皆さんと共に祝うことができたことと述べたほか、十月二十七日に、東日本大震災後の被災地で初めて開催された「中核市サミット二〇一六いわき」について報告しました。

## 主な議案

### ○いわき市ふるさと納税基金条例の制定について

全国的に制度の利用が進む「ふるさと納税」の寄附金を活用し、まち・ひと・しごとを創生する事業に要する経費などの財源に充てることを目的とした基金を設置するため、同条例を制定しました。

### ○いわき市都市公園条例の改正について

地域防災計画に広域避難場所として位置付けられている二十一世紀の森公園の、さらなる防災機能向上を目指し、整備を進めている災害時拠点施設について、同公園内施設として条例に位置付け、平常時にスポーツ等ができる「屋内多目的広場」として利用する際の使用料の額を定めるため、所要の改正を行いました。

・教育委員会委員任命の同意を求めることについて  
・根本紀太郎（再任）

・公平委員会委員選任の同意を求めることについて  
・金成俊男（再任）



4月の供用開始に向け整備を進めている21世紀の森公園屋内多目的広場

## 主な補正予算

- ▶ 経済対策臨時福祉給付金、給付事務費 = 10億8,599万円
- ▶ 中学校災害復旧費（補助） = 2億5,380万円
- ▶ 工場等立地奨励金 = 2億2,014万円
- ▶ ふるさと納税基金積立金、ふるさと納税推進事業費 = 1億5,551万円
- ▶ 産地パワーアップ事業費 = 6,185万円
- ▶ 土地区画整理事業特別会計 = 34億4,239万円

### ○澤渡財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・大竹幹夫（再任）  
・田人財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・小野誠（再任）



四倉海岸の初日の出